

ご挨拶

昨年7月にクロアチアに赴任して、1年が経ちました。また、強い日差しのザグレブの夏が戻ってきました。

この1年間、招待や案内のあったいろいろな行事にできるだけ出席し、歳時記風にクロアチアでは何が行われるのかを知ろうとしてきました。もちろん1年だけでは、その国のことをすべて知るといことはできませんが、徐々にクロアチアに対する理解が深まってきたように思います。

まず、この1年間の動きを振り返ってみたいと思います。

本年、クロアチアは、独立国家としての国際的承認25周年を、国を挙げて祝っています。1991年の独立宣言の後、旧ユーゴスラビア軍などの介入により、クロアチア国内において「祖国防衛戦争」が起こりました。多くのまちが攻撃され、また、多くの犠牲者が出ていました。このような中、当時のE C 主要国をはじめ、日本、アメリカなども、クロアチアを独立国として承認しました。これは、クロアチアにとっては、独立に向けた自国の主張を、国際社会が認めたという重要な出来事でした。今やクロアチアは、穏やかな平和な国となり、N A T O に、そしてE Uにも加盟し、その一員として活動し、貢献しています。

国内政治の分野では、昨年9月に議会議員選挙、そして、今年の5・6月にかけて統一地方選挙が行われました。クロアチア自体が発展し、また、更に豊かな市民生活を実現するためには、政治的に安定した政権が望まれています。昨年秋に発足した現プレンコビッチ政権は、グラバル＝キタロビッチ大統領の下、国内外の難しい政治的・経済的な問題に直面しながら、親E U・親N A T O を基本として、持続的な経済・社会の発展を目指しています。

在クロアチア日本大使館としても、民主主義、法の支配、市場経済といった基本的な価値観を共有しつつ、現政権が進めようとしている政策と協調して、日本とクロアチアとの間の関係の更なる強化に努めてまいります。

クロアチアは、現在、美しく輝く魅力的な夏を迎えています。日本大使館に隣接するズリンスキー広場やシュトロスマイエル広場は、強い日差しながらも、からりとした青い空のもと、緑の木陰が涼しそうです。言うまでもなく、クロアチアには、ドゥブロヴニクなどの海岸部の個性的なまちやプリトヴィツェなどの豊かな自然があります。是非、クロアチアに足を運び、この国の美しさを味わってみませんか。もちろん、それは、観光が大きな産業であるクロアチアにとって、日本や日本の人々をより良く理

解できる機会でもあります。是非、クロアチアにお出ください。

私にとって新たな1年が始まります。皆様のご協力をいただきながら、日本とクロアチアとの更なる関係の強化に向けて、大使館全員で取り組んでまいります。引き続き、よろしくお願いいたします。

2017年7月7日
在クロアチア特命全権大使
瀧口 敬二